| Course nun | U-LAS21 20001 SJ48 | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|-----|--|----------|--|-----------|---------------------|--|----------------|------------------------------------|-----------------------|----------------|--|
| | tle se ドイツ語IIA D2111 Intermediate German A | | | | | | name and d | ctor's , job title, epartment liation | Pa | Part-time Lecturer, FUKUTA SATOSHI | | | |
| Group Lar | Group Languages Field | | | | | | (Classification) | | | | | | |
| Language of instruction | Japane | ese | | | | Old group | | Group C | | Number of credits 2 | | 2 | |
| Number of weekly time blocks | 1 | | | | | | Foreign face cou | language) irse) | Year/semesters | | 2024 • First semester | | |
| Days and periods | Wed.5 | | | Target y | | ar 2 | nd year stu | d year students or abov | | Eligible students | | For all majors | |

[Overview and purpose of the course]

初級文法の知識をベースにドイツ語の読解力の養成を図る。また、外国語の学習習慣の見直しも意 識的に試みる。

[Course objectives]

一定水準のドイツ語のテクストを主体的に読みこなせるようになる。

[Course schedule and contents)]

よく知られた古典的な映画『十二人の怒れる男』(1957)を鑑賞しながら、同時にドイツ語のテクストで読む。映画は、ある少年の裁判で、陪審員の12人が評決にいたるまでを描いた内容。それを素材として、ドイツ語を読む力を養う。丁寧な予習が不可欠で、自らの外国語学習のリズムを見つめ直す機会にもしてもらいたい。

- 1.ガイダンス
- $2 \sim 4 \cdot \mathcal{F} + \mathcal{F}(1) \sim (3)$
- 5 . (1)~(3)のおさらい
- $6 \sim 8 \cdot \mathcal{F} + \mathcal{F}(4) \sim (6)$
- 9.(4)~(6)のおさらい
- 10~12.テキスト(7)~(9)
- |13 . (7)~(9)のおさらい
- |14.試験にむけた準備
- 15.フィードバック

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

成績評価は、原則として、学期末の試験による。ただし、学習習慣の確立も重要なので、1割程度、 受講の姿勢も加味する。(後者を「平常点」と呼ぶのであれば「平常点」は受講姿勢が10割という ことで、考え方は以下の通りです。)

予習がなされていること、出席票の記入ができていることを重視します。

予習は、「分からない状態」を縮減するためにできる努力をしてください。そうして予習したものに結果的にまだ間違いがあることは問題ではありません。

欠席を減点の対象とすることはしないものの、出席することでリズムが生まれ、気づきや定着に Continue to ドイツ語II A D2111(2)

ドイツ語IIA D2111(2)

共同学習の雰囲気とルールを大事にするという観点から、私語、スマホ操作、居眠り、予習不足 (予習に間違いがあるという意味ではありません)、出席票の記入漏れや未提出といったものは評 価に含める可能性があります。

[Textbooks]

" Die zwölf Geschworenen " (プリントを配布します)

[Study outside of class (preparation and review)] 発音を確かめる、語義を確かめる、文法を理解するといった角度から文章を丁寧に読む予習が不可 欠(標準:1,2時間程度)。分からないところがあるときの対処の仕方が分かってくることが、 学習の質的向上につながる。 逆に、辞書で語義を見たらあとはそこから文意を想像するだけになってしまうと、外国語学習が崩 れてくるので、これまで使ってきた初級文法の教科書も随時参照すること。 テクストの理解が進んできたら、気軽に試験までに何周かするつもりで復習して定着を図る(忘却 曲線を念頭に置いた忘却の回避、細部に気を配った理解と定着)。 [Other information (office hours, etc.)]